

入湯税超過課税分充当事業  
令和5年度 事業報告書

別府市

## 入湯税超過課税分の使途 “5本の柱”

### 1 温泉資源の保護、確保

- (1) せーので測ろう！別府市全域温泉一斉調査 (p2)
- (2) 地下水の現状調査 (p2)
- (3) 別府市給湯事業見直し (p3)
- (4) 市営温泉の衛生管理強化 (p3)
- (5) 共同温泉改修等補助金 (p3)

### 2 観光客の快適性確保 (ストレスフリー)

- (1) お宿予約サイト構築プロモーション事業 (p4)

### 3 観光客の安全・安心の確保

- (1) ワンダーコンパス別府運営事業 (p4)

### 4 観光客を増加させるための事業推進

- (1) 別府版DMO機能充実のための新規人材の雇用 (p5)
- (2) 観光マーケットター育成事業 (p6)
- (3) 海外旅行会社とのネットワーク構築 (ランドオペレーター) 事業 (p6)
- (4) 既存資源の磨き上げによる新規アクティビティ開発事業 (p7)

### 5 観光客の受入体制の充実

- (1) トイレ整備費及び除草作業等景観維持費用 (p8)

別府市入湯税の超過課税分の使途に関する審議会条例第 2 条各号に関連する事業として、下記事業を実施した。

## 1 温泉資源の保護、確保

(1) セーので測ろう！別府市全域温泉一斉調査 [決算額 1,763 千円]

### ① 事業目的

資源保護及び市民への啓発のため、市有源泉を中心に実施している源泉の定点観測調査について、民間事業者の源泉を含めデータの蓄積と温泉資源保護の必要性を周知する。

### ② 事業内容

市民参加型の温泉資源の定点観測調査を行い、継続的に経年変化の有無等を確認するため、温泉水のサンプル採取、温泉水の温度及び電気伝導度測定の実施する。

### ③ 事業実績

平成 28 年度から開始した市民参加型の定点観測調査は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和 2 年度から市民参加型による開催を中止していたが、8 回目となる令和 5 年度の温泉一斉調査は、4 年ぶりに市民参加型として再開し、温泉水のサンプル採取、温泉水の温度及び電気伝導度測定の実施した。普段から別府の温泉を利用している人に、温泉調査を体験してもらい、温泉に科学の側面から触れていただくとともに、資源としての温泉を考えてもらう機会を作ることができた。

市内の 65 施設で 83 か所の源泉から温泉水を採取し、採取した温泉のサンプルは、専門の分析機関に依頼して、7 つのイオン分析（ナトリウムイオン、カリウムイオン、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、塩化物イオン、硫酸イオン、炭酸水素イオン）を行い、継続的なデータの蓄積を図った。

一斉調査で得られた過去のデータは、広く一般に公開し、基礎的な情報を提供することを目的として、「セーので測ろう！別府市全域温泉一斉調査 Web マップ」をホームページにおいて公開している。

[https://www.city.beppu.oita.jp/sangyou/onsen/seno\\_isseichosa.html](https://www.city.beppu.oita.jp/sangyou/onsen/seno_isseichosa.html)

(2) 地下水の現状調査 [決算額 9,996 千円]

### ① 事業目的

温泉資源に必要な地下水に関するデータが不足しているため、地下水の利用状況を把握し、温泉資源の保護施策の基礎資料とする。

### ② 事業内容

別府市の地下水の状況に関する調査研究について、京都大学への受託研究事業により実施する。

### ③ 事業実績

令和 2 年度から継続して、別府市の地下水の状況に関する調査研究を受託研究事業により行った。令和 5 年度では「別府温泉の同位体分別および涵養標高の推定」として、昨年度実施した「水同位体を用いた涵養標高の推定」を発展させ、各泉質の涵養標高をより明確にした。さらに、GIS 解析を用いることによって、より詳細な涵養域の推定に成功した。上記の研究成果は「令和 5 年度別府市の地下水の状況に関する調査研究報告」としてまとめられた。

(3) 別府市給湯事業見直し

[決算額 5,863 千円]

① 事業目的

市有泉源から市有温泉や共同温泉その他公用又は公共用温泉などへ温泉を供給する別府市給湯事業を見直し、温泉の安定供給を図るとともに温泉資源の保護につなげる。

② 事業内容

別府市が行う温泉給湯事業の給湯路線（6 路線：総延長約 46 km）の現状分析を行うとともに、効率的な運用を図るための見直し案を策定し、適切な維持管理・修繕・更新を行う。

③ 事業実績

2 路線の個別施設計画に係る基礎調査として、現状分析及び給湯ルートの見直し案の策定等を実施した。

(4) 市営温泉の衛生管理強化

[決算額 469 千円]

① 事業目的

温泉施設に義務付けられている年 1 回のレジオネラ属菌検査について、任意での検査を 1 回追加し、市営温泉の衛生管理の強化を図る。

② 事業内容

法令等で定める基準以上で実施している市営温泉の全浴槽及び貯湯槽の水質検査を、任意で 1 回追加して、法定検査、任意検査の年 2 回実施する。

③ 事業実績

市営温泉 15 施設の水質検査（レジオネラ属菌検査）を実施した。

(5) 共同温泉改修等補助金

[決算額 1,263 千円]

① 事業目的

共同温泉から要望の多い、温泉運営に支障のある軽微な補修、手すりや浴槽内段差設置といったバリアフリー対応に関し、即応性の高い予算執行を可能とする。

② 事業内容

市有区営温泉のうち、立ち寄り入浴のできる共同温泉において、温泉利用に資する部分に係る急を要する改修、手すりの設置等バリアフリー対策、その他観光客の入浴のための施設整備に要した経費に対し、補助金を交付する。

③ 事業実績

市有区営温泉 8 施設に対して補助金を交付した。

(令和 5 年度補助金交付実績)

No.	種別	事業内容	補助金額
1	施設改修・観光客入浴対策	温泉改修（照明設備改修・監視カメラの設置）	200,000 円
2	施設改修	温泉改修（屋根・外壁補修）	77,500 円
3	施設改修	温泉改修（浴室タイル補修）	200,000 円
4	施設改修	温泉改修（内壁・タイル補修）	200,000 円
5	施設改修	温泉改修（屋根改修）	130,000 円

6	バリアフリー対策	温泉改修（トイレの洋式化）	200,000 円
7	施設改修	温泉改修（屋根・網戸・敷居補修）	200,000 円
8	施設改修	温泉改修（泉源煙突の撤去）	55,000 円

#### 【事業評価】

せーので測ろう！別府市全域温泉一斉調査は、新型コロナウイルス感染症の拡大により市民参加型による調査は中止していたが、4年ぶりに市民参加型として再開し、継続的なデータの蓄積を行うことができた。地下水の現状調査及び給湯管ルート的基础調査を実施し、温泉資源の保護・確保に向けた現状分析を行うことができた。また、共同温泉に対して、浴室タイルの張替工事等に係る補助金を交付し、施設の緊急改修等の実施に寄与することができた。

## 2 観光客の快適性確保（ストレスフリー）

### (1) お宿予約サイト構築プロモーション事業

[決算額 16,980 千円]

#### ① 事業目的

別府市内の宿泊施設を対象とした別府オリジナル宿泊予約サイトを構築及び運営することにより、これまで大手宿泊予約サイトに流れていた手数料を少しでも域内へ留めることを目的とし、その他同一サイト内にて周遊パスを販売し「宿泊＋周遊」による相乗効果を図る。

#### ② 事業内容

別府市のお宿を対象とした宿泊予約サイトを構築するとともに最大の見込み客である福岡県へアプローチを行う。

#### ③ 事業実績

- ・ 予約人数 431 名 予約金額 6,231 千円（前年比 154%）
- ・ 福岡県を中心に WEB 広告を配信
- ・ プレミアムガチャキャンペーン実施
- ・ サイトコントローラー（宿在庫システム）の「手間いらず」連携
- ・ オンラインショップ機能追加
- ・ アクティビティ予約機能追加
- ・ 周遊パス販売ページ追加（年間利用者数：328 名、売上実績：1,262,600 円）

#### 【事業評価】

宿泊予約についてはキャンペーン効果により伸びてはいるものの引き続き認知拡大及びユーザーメリットの創出が必要。

予約プラットフォームとしての機能は充実してきているがオリジナル機能がないため、来年度は「サイトオリジナルプラン」造成機能を実装しキャンペーンを含め戦略的に PR を行い、予約獲得に努めたい。

## 3 観光客の安全・安心の確保

### (1) ワンダーコンパス別府運営事業

[決算額 24,509 千円]

#### ① 事業目的

外国人観光客に対応できる観光案内所「ワンダーコンパス別府」の運営事業強化を目的とする。

② 事業内容

- ・ 外国人観光客へ向けた情報提供及び情報収集
- ・ 外国へ向けた別府観光の情報発信
- ・ 外国人観光客同士の情報交換ほか

③ 事業実績

- ・ マネージャー1名 ・サブマネージャー（案内所統括）1名 ・他契約社員2名

来場者数：157,743名（令和3年度13,505名、令和4年度41,410名）

運営体制：常駐4名

営業時間：8:45～18:00

サービス：案内業務及び各種チケットの販売、レンタサイクル、レンタル車椅子ベビーカー、手荷物の預かり、SIMカード販売ほか各種サービスの提供

その他：他自治体の観光等ポスター・チラシの設置

観光案内所	鉄 輪		ワンダーコンパス	
人員配置数	1名		4～7名	
営業時間	9：00～17：00		8：45～18：00	
来場客数	令和4年	令和5年	令和4年	令和5年
	19,429名	31,433名	41,410名	157,743名

【事業評価】

本市における総観光客数は新型コロナウイルス禍前の水準を上回る状況へと回復が進化し、各観光案内所への来訪者数も前年度と比較して大幅に増加。Booking.comの人気旅行ランキングで別府市が第1位になったことにより、次年度以降はこれまで以上に利用者の増加が予想されるため、スタッフの人数を増やして対応しているが時間帯によっては行列ができるため、事前の資料づくりや表示を工夫することで全ての利用者にとってわかりやすい環境を構築し、国内外すべての来訪される観光客の利便性向上を図る。

4 観光客を増加させるための事業推進

(1) 別府版 DMO 機能充実のための新規人材の雇用

[決算額 6,600 千円]

① 事業目的

まちに根差した地域づくりとエビデンスに基づいた観光地戦略を実施することにより、「別府の稼ぐ力」を向上させることを目的とする。

② 事業内容

基幹産業である観光産業を発展させるため、地域経済活性化アドバイザーの助言を踏まえ、「別府の稼ぐ力」の向上や観光 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を図る。

③ 事業実績

- ・ 別府市の地域特性分析実施
- ・ 宿泊施設高付加価値化改修個別計画の取りまとめ
- ・ 別府市地域計画策定
- ・ 実施体制づくり

- ・ 面的 DX 化計画策定
- ・ 国の高付加価値化補助金を地域として申請する際のサポートを実施、結果として市内 42 事業者 54 事業に対し約 18 億円の交付決定を受けた。

(2) 観光マーケットター育成事業

[決算額 8,199 千円]

① 事業目的

まさに根差した地域づくりとエビデンスに基づいた観光地戦略を描ける人材の雇用を目的とする。

② 事業内容

別府市のマーケティングを行う人材が必要なことから、APU(立命館アジア太平洋大学)等で観光マーケティングを履修している学生をインターンシップとして受け入れ、現場でその実践機会を提供する。

③ 事業実績

	育成方針	実績
 APU (Rさん)	(実践を通して学ぶ) APUとB-bizLINK が連携し、別府駅の観 光案内所にてマチと の接点を持ち学びの サイクルを生み、視点 を変えて実践に取り 組み別府の課題解決 に寄与する。	<b>観光人材の育成プログラム「6つの実践内容」</b>  1. マチ歩き 別府をまず知る！自ら体験  2. 観光案内所接客 コミュニケーション  3. 他地域視察 別府の魅力客観視できる目線を醸成  4. リサーチ 訪日旅行者の声を聞く  5. 仮説検証 実際に実践して自ら検証  6. 活動奮闘記の発信 アウトプット
 APU (Yさん)		
 APU (Kさん)		

(具体的実績)

6つの実践を組み込んだ観光人材の育成プログラム実施。

① マチ歩き (別府をまず知り、自ら体験)

別府市内を幅広く巡り、地元の方に案内をしてもらい知見を深める。

② 観光案内所接客 (コミュニケーション)

ワンダーコンパスの熟練スタッフからおもてなしの本質を学び、気付く力を培い、実際に観光案内所のスタッフ同様に接客を行った。

③ リサーチ/ガイド (自ら仮説検証)

3名それぞれ3エリアに分かれ事前にリサーチ。リサーチしたエリアをワンダーコンパスから実際の観光客をエリアに連れて行きガイドする。

④ 活動奮闘記の発信 (学んできたことアウトプット)

別府市公式観光ホームページにて「APU インターン生が見た別府」として4本の記事を作成及び公開した。

⑤ 地域視察 (別府の魅力客観視できる目線を醸成)

視察先として高千穂町を選定、高千穂町の課題とその施策の説明を受けた後に実際に現場に出向き高千穂町ガイドと共に街歩き及びディスカッションを行った。

※当観光人材育成プログラムの実践を終え、3名それぞれが学んだことの発表会を実施。

(3) 海外旅行会社とのネットワーク構築 (ランドオペレーター) 事業

[決算額 9,240 千円]

① 事業目的

訪日旅行を取り扱う海外旅行会社に対し、幅広いアプローチを行い、外国人観光客増加及び海外旅行会社との連携を促進する。

② 事業内容

訪日観光市場の最前線で活動する企業等と連携し、訪日旅行を取り扱う海外旅行会社に対して幅広いアプローチを行う。

③ 事業実績

○ 集客（2023 年）

120 ツアー、約 800 名、国々：豪州、シンガポール、マレーシア、台湾、米国

○ ランドオペレーター業務

海外から別府を含むツアーの造成、各国旅行会社との営業セールス

商談数：96 商談

商談国：豪州、マレーシア、シンガポール、ニュージーランド、米国、英国など

ツアー実績

- ・ 豪州の旅行会社 Ignite Travel と別府を含むツアーを 2024、2025 年で 84 ツアー造成
- ・ 豪州の旅行会社 Intrepid Travel と 2024 年に 28 ツアーを造成
- ・ 豪州の旅行会社 MW Tours から 3 ツアー（個人客 2 ツアー、ハイキング 1 ツアー）集客
- ・ 豪州のヨガツアーを取り扱う Integral Tracks と別府に 4 泊のツアーを実施（10 名集客）
- ・ シンガポール富裕層旅行会社 Follow me Japan と別府を含む富裕層ツアーを造成 15 名集客
- ・ 台湾の富裕層旅行会社太平洋旅行社と別府を含む 5 種類のツアー商品を企画・造成

(4) 既存資源の磨き上げによる新アクティビティ開発事業

[決算額 3,000 千円]

① 事業目的

別府の強みを磨き上げる企画案及び事業計画を作成し、協働するプレーヤーを見つけ、広告費等自走初期の伴走を通じて事業の定着化を図る。

② 事業内容

事業 A：地獄蒸し技法を活かした「まち歩きスイーツ」のレシピ開発。

市内「蒸土茶楼」前田進一郎オーナーシェフとの共同開発により、地獄蒸しと薬膳効果による「おいしくて、ヘルシーで、新しい」別府オリジナルスイーツの調理レシピを完成。今後は市内製造業者、飲食店等にお知らせし、無料でレシピを提供していく。

事業 B：「初めての別府まち歩きをアイコン化した読み切りマガジン」の制作。

別府を初めて訪れる 20～40 代女性客向けの情報マガジン制作。

③ 事業実績

事業 A

- ・ スイーツ小籠包 5 種レシピ完成
- ・ 試食会
- ・ 販売に向けた試作（進行中）

- ・レシピ使用事業所の開拓（進行中）

#### 事業 B

- ・マガジン 5,000 部作製
- ・観光案内所等で配布

#### 【事業評価】

市内観光事業者の施設高付加価値化改修のために地域計画策定や補助金申請サポートにより、今後の誘客及び満足度向上に繋がる施策を展開できた。また、APU と連携し、観光マーケティングを履修している学生をインターンシップとして受け入れ、現場での実践機会を提供できた。海外旅行会社とのネットワーク構築事業では、ラグビーW 杯以降ターゲットとしてきたオーストラリアからのツアーの引き込みに成功し今後も増える見込みである。新アクティビティの開発は年度内に間に合わなかったが、次年度以降に繋がる取組となった。

### 5 観光客の受入体制の充実

#### (1) トイレ整備費及び除草作業等景観維持費用

[決算額 2,507 千円]

##### ① 事業目的

トイレの改修・整備や道路の除草作業等を行うことにより、おもてなしの向上を図る。

##### ② 事業内容

トイレの改修・整備や、国道や県道といった所管以外施設の除草作業等を実施する。

##### ③ 事業実績

- ・ 別府公園、渋の湯広場のトイレトペーパーの補充等
- ・ 志高湖女子トイレの洋便器化、トイレブースの改修等
- ・ みゆき坂公園転落防止柵、立入禁止柵の設置
- ・ 志高湖入口等の枯れ松伐採撤去等

#### 【事業評価】

例年に引き続き、観光客が多く利用する公園等のトイレトペーパーの補充等を実施し、受入体制の向上を図った。また、志高湖の女子トイレの洋便器化やトイレブースの改修、みゆき坂公園の転落防止柵及び立入禁止柵の設置等、老朽化した観光施設の改修を実施することで、観光客が施設を訪れた際の満足度上昇と安全性の確保が図られた。